

## 第 4 次浜松市教育総合計画「実態把握調査」について

### 1 目的

児童生徒、保護者、学校・教職員に調査を実施することで、成果指標の達成状況及び実態を把握し、各施策等の取組状況を評価・検証を行い、次年度以降の施策推進につなげる。

調査結果について、大学や国と連携して分析することで、データ利活用の推進を図る。

### 2 調査内容

(1) 時期：毎年 2 月

(2) 対象：児童生徒（小学 5 年、中学 2 年、高校 2 年）、対象児童生徒保護者、教職員、学校

(3) 方法：フォーム…児童生徒（小学 5 年、中学 2 年、高校 2 年）、教職員、学校  
さくら連絡網…対象児童生徒保護者

(4) 調査項目 ※詳細は資料 2-2

ア 成果指標に関する項目

イ 10 年先の教育を見据えた示唆的な項目（意見表明権・自己肯定感・社会貢献など）

ウ 本市の課題解決・発見につながる項目

エ その他必要な項目

(5) 実施主体：浜松市教育委員会

(6) 分析協力：愛媛大学露口研究室・日本女子大学山下研究室・国立教育政策研究所卯月副部長

### 3 調査結果の分析について

以下のとおり分析を実施する。

ア 基本理念・コンセプト・目指す姿…日本女子大学山下研究室

イ ウェルビーイングに関すること…愛媛大学露口研究室

ウ 多様性・包摂性に関すること…国立教育政策研究所（卯月副部長）

エ 成果指標に関すること…教育委員会（関係課）

### 4 社会経済的な背景に関する項目について

(1) 追加する項目：家族構成、世帯収入、学歴

例 現在、お子さんと一緒に住んでいる方を教えてください

あなたのご家族全体の世帯収入（税込み年収）は次のどれにあてはまりますか

お子さんの父親（または父親にかわる方）の最終学歴についておたずねします

(2) 追加する理由

児童生徒は、家庭教育の影響を大きく受ける。その社会経済的な背景を取り除いたうえで、施策の成果を分析する必要があるため。

(3) 対応

保護者に対しては「回答は任意であること」「データは匿名化して処理を行い、個人が特定されることはないこと」を説明する。

### 5 R7 調査スケジュール

R8. 2 月 調査実施

3～5 月 データ集計・分析

6 月 検証・検証推進部会（R7 年度の評価・検証）

7 月 第 4 次浜松市教育総合計画推進会議（R7 年度の評価・検証）

8 月 評価・検証報告書公表